

氏名	原 寛美 / HARA HIROYOSHI
所属・職名	松本看護大学 学長 ・ 看護学部 教授
連絡先	
担当科目	成人看護学概論, 国試必修対策, 病態治療学
学歴	京都大学医学部医学科卒業
学位	修士 (医学)
主な経歴	東京大学医学部附属病院リハビリテーション部医員、相澤病院リハビリテーション科統括医長、桔梗ヶ原病院副院長・高次脳機能リハビリテーションセンター長、東京リハビリテーションセンター世田谷センター長、藍の都脳神経外科病院副院長・ニューロリハビリテーションセンター長
研究分野	リハビリテーション医学、高次脳機能障害、記憶障害、MRI拡散テンソル画像解析、ボツリヌス治療
所属学会	日本リハビリテーション医学会、日本神経学会、日本脳卒中学会、日本老年医学会、日本ボツリヌス治療学会、日本ステイミュレーションセラピー学会
主な研究業績	
著書	<ol style="list-style-type: none"> 1 日本版バーミード行動記憶検査RBMT. 共著、2002, 千葉テストセンター 2 日本版バーミード行動記憶検査RBMT2023年増補版. 共著、2023, 千葉テストセンター 3 エビデンスに基づくボツリヌス治療、上肢・下肢痙縮に対するリハビリテーションの最適化のために. 共著、2022、三輪書店 4 高次脳機能障害ポケットマニュアル第1版. 共著、2005, 医歯薬出版 5 高次脳機能障害ポケットマニュアル第4版、共著、2023, 医歯薬出版 6 脳卒中理学療法の理論と技術第1版、共著、2013, メジカルビュー社 7 脳卒中理学療法の理論と技術第5版、共著、2025, メジカルビュー社 8 脳卒中リハビリテーションポケットマニュアル第2版、共著、2023, 医歯薬出版 9 高次脳機能障害のリハビリテーションVer,2, 共著、2004, 医歯薬出版 10 別冊NHK今日の健康、脳梗塞. 共著、2017, NHK出版
学術論文	<ol style="list-style-type: none"> 1 脳卒中急性期リハビリテーション-早期離床プログラム. 単著、医学のあゆみ第183巻第6号、p 407-410、 2 脳卒中運動麻痺回復可塑性理論とステージ理論に依拠したリハビリテーション. 単著、脳神経ジャーナル第21巻第7号、p516-526、2012 3 脳卒中後のニューロリハビリテーションの理論と実際. 単著、脳神経外科速報25巻2号、p188-195、2015 4 White matter degeneration in diffuse axonal injury and mild traumatic brain injury observed with automatic tractography. 共著、NeuroReport. 32(11):p 936-941, 2021 5 Effects of botulinum toxin A therapy and multidisciplinary rehabilitation on upper and lower limb spasticity in post-stroke patients. 共著、Int J Neurosci.127(6):469-478.2017 6 The Effect of Repeated Botulinum Toxin A Therapy Combined with Intensive Rehabilitation on Lower Limb Spasticity in Post-Stroke Patients. 共著、Toxins (Basel);10(9):349. 2018 7 Prognosis prediction of the effect of botulinum toxin therapy and intensive rehabilitation on the upper arm function in post-stroke patients using hierarchical cluster analysis.共著、Disabil Rehabil. 44(22):6815-6823.2021 8 高次脳機能障害に対する認知リハビリテーション. 単著、日本医師会雑誌第145巻、第6号、p1201-1204, 2016 9 SPMによるDAI/MTBI鑑別診断への挑戦. 共著、Journal of Clinical Rehabilitation Vol. 26 No.8, p 769-775, 2017 10 記憶障害のリハビリテーション. 単著、Brain and Nerve 第70巻、第7号、p829-840、2019